	令	和6年	隻長	久手市行政	評価	磦(	A票:事	業評価票	()		対象年度			令和5年度			
					ヱレ	×± Λ		<b>上</b> 怪車型	<u>.</u>		担当課			子ども家庭課			
事業	番号	56	事第	《名	<u> </u>	_ 007	/土冶于白.	义]友尹未	ŧ		予算区分(款-項-目-中事業)			3-2-3-5 子どもの生活学習支援事業			
				(大事業	名)	ひとり	親等福祉費				決算書ページ		1:	25 ~	一般		
	総	基本目標	2	子ども	が元気	気に育っ	つまち		事業開始の日子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、対象に対し、各種手当、福						止資金の貸		
	合計	政策						背景	Ţ	付け、	就労支援、自立支援給付金事	業等	を実施	i 			
	画	施策						市国	市民・民間事業者との連携協働の可能性					民間事業者とのみ協	働可		
		開始年月	蒦	3	平成 2	8年度											
	その	終了予定	年度			年度	☑ 未足	2									
	他	根拠法令	等														
		関連計画	画	第2期子ども・	子育	て支援	事業計画										
				アウトプッ	詳細は	[∧)				アウトカム(詳細は皿へ)							
I 基				業概要 目を行うのか)			②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)				③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
基本情報		【対象】  【対象】  「対象】  「対象】  「対象 市職の 大学の名  「関係を表現である。  「対象のでは、できる。  「はいるのでは、できる。  「はいるのでは、できる。  「はいるのでは、できる。  「はいるのでは、できる。」  「はいるのでは、いるのでは、できる。」  「はいるのでは、これでは、いるのでは、いるでは、いるでは、いるのでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いる		生活相談、生活 的とした、子ど	•••	実施場	ションプラン 所数 )他の指標】	指標】			り親家庭の自立を促進する 果指標名)		業	ひとり親家庭の安定を により、児童の健や 期待できる	を図ること かな成長が		

			活動指標名	単位	基準値( 目標値( ※AP指	2018年) 2023年) 標のみ	区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R7(2025) R8(2026) 年度 年度		
			【アクションプラン事業】		基準値	4	見込	4	4	4	4	4	
		1	実施場所数	箇所	目標値	4	実績	4					
			200 201120										
	活				基準値		見込						
	活動指標	2			目標値		実績						
П	標				基準値	П	 見込	I					
活		3			<del></del>								
活動状況					口际吧		入帜						
況					基準値								
7		4			目標値		実績						
ウ													
トプ		事業	事業開始からの経緯										
ットの詳細)	Н <sup>2</sup>	令和3年度から従来の居場所型を3から2箇所、学習面を強化した箇所を新たに2箇所追加した。令和4年度からも同様に実施。											
	ソ	R5(2023)年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	<b>-</b> ユ	予定	どおり遂行。特記事項なし。										

			成果	指標名(中間成果をはか	るもの)	の) 単位 成果指標の推移と目標															
	成			参加児童数		人	3 年度		4 年度		【現状】		年度			年度		7	年度		
	成果指標				成果達成状況	1	2,590		2, 394		۷,	546		<b>一</b>	2,5			2,546			
	標			A 세숙 FUAL D 세숙	⇒ <i>t</i> >L\	指標目標値の根拠															
Ш	( C H	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない B D. 想定を下回っている																			
事	E C	評価の理由、分析																			
事業の成果	K	実態としての数値 受け皿的には妥当である。学習支援については開始当初の人数により差が生じる(同じ児童が9か 月36回参加)。																			
•		今後	後の方	5向性(3年~5年先)					今後のフ	与向性	生の理由										
課題分析		A       A. 現状維持 B. 拡充 Oとり親家庭の子ども支援に必要な事業であるため。         C.縮小 D. 廃止																			
新 (ア	加 え	改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)											)								
ウト	んる変化	月	直し	Jの余地のある取組名	見直しの 方向性			的な見直しの内容							直し 指集度						
カムの詳	A C T	1			□ 拡充 改善 協小 □ 廃止																
細)	I 0 N )	2			□ 拡充 改善 □ 縮小 □ 廃止																
		3			□ 拡充 改善 □ 縮小 □ 廃止																

		R7年度の費用(R6年度比)		(.	単位:千円)	R6(2024)年度	R5(202)	3)年度	R4(2022	2)年度			
		A. 現状維持 B. 拡充			古光弗	予算	予算	決算	予算	決算			
		A C. 縮小 D. 廃止		事業費		8,606	8,746	6, 745	8, 746	6,855			
		理由			合計額	6, 436	6,542	5,042	6,707	5, 135			
				特	(内 国費)								
		  委託している事業であり、受託業者から		定財	(内 県費)	6, 436	6,542	5, 042	6,707	5, 135			
		は社会情勢から増額を要求されており、		源	(内 諸収入)								
		削減は困難である。			(内 その他)								
	令				一般財源	2, 170	2, 204	1,703	2,039	1,720			
	和 7	積算額			度予算の内訳 〈 旅費 3千円(3千		S算額、(R5年度	予算額)>					
Ⅳ費用	年度予算の方向性(PLAN)		3年間の推移	子ど <sup>・</sup>	品費 20千円(20 もの生活・学習3	支援委託 8,583 <del>千</del>	千円(8, 723千円)						